

# かわむらこどもクリニックNEWS

Volume 19 No 1

210号

平成23年 1月 1日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255

HOME PAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

あけまして  
おめでとう  
ございます



今年もよろしくお祈いします

院長・スタッフ一同

シヨンの重要性を次世代に伝えるための医学生と研修医実習の受け入れ。あちこちで子育て支援のための原稿書き、小学校4年生PTA行事で性教育(命の大切さの講話)、新型インフルエンザの臨床研究。果てはMail NewsからTwitterまで。



活動が続けられる理由は何かと尋ねられたら?。まずは自己満足と答える。でも自己満足だけでは続かない。もちろん自己顕示欲でも無い。やはり継続のためのモチベーションは、結局は他人の評価かも。医師にとっての最も大きなモチベーションは、患者さんの“ありがとう”の言葉。それだけでも十分なのに、煽てられ乗りやすい自分は、他人の評価も大きな源になっている。日立病院退職時の市長からの感謝状、2004年大病院と争ったNPO HIS研究センターの第1回広報企画賞は、自己満足を超える他人の評価。そんな評価と座右の銘「継続は力なり」を支えに、ウサギのように飛び跳ね続けてきた人生。

昨年4月からは仙台小児科医会の会長職を拝命。重点項目として、「髄膜炎関連ワクチンの助成」を取り上げた。医師のみの活動では盛り上がり欠けるため、市民を巻き込んでの活動を計画。8月からの署名運動、9月にはマスコミを動員しての雨中での街頭署名。多くの小児科医、スタッフ、患者さんに、着ぐるみまで参加。10月には1万筆を超える署名を携え、奥山市長に髄膜炎関連ワクチン助成のための要望書提出。11月には仙台市医師会の後援を頂いた「髄膜炎から子どもを守るための市民公開講座」開催。ますます、ぴよんぴよん跳ねた1年。いやいや、休む暇なく飛び跳ね続けなければならない1年だった。

還暦を迎える年に当たり、そろそろ立ち止まって、落ち着いて考える時なのかも。はてさて、飛び跳ねなくてもすむ兎歳になるのやら。(仙台市医師会報同掲)



2011年 元旦  
お慶賀でアクセス860万方を頂きました  
かわむらこどもクリニック  
HOME PAGE  
(<http://www.kodomo-clinic.or.jp/>)

昨年の髄膜炎関連ワクチンの接種費用助成では、スタッフと患者さんと街頭署名に参加いたしました。また、新しい試みとして、患者さん向けのMail NewsとTwitterも始めました。今年も「全ては子どもたちのために」という合言葉で、新しいことに挑戦したいと思います。昨年いろいろお世話になり、ありがとうございました。今年も、よろしくお祈いいたします。  
**K's clinic かわむらこどもクリニック**  
981-0907 仙台市青葉区高松1-16-1  
TEL022-271-5255 FAX022-301-9031  
医療法人 かわむらこどもクリニック  
理事長 川村 和久

**年賀状 ありがとう  
ございました**  
今年もたくさんの年賀状を頂き、ありがとうございました。本来は御返事を差し上げるところですが、この場を借りてお礼を申し上げます。  
院長・スタッフ一同

## ウサギのような人生?

## 院長

ウサギのイメージは、ぴよんぴよん跳ねる、目が赤い、真っ白。還暦を迎える歳に当たり振り返ってみると、まさに自分の人生そのもの。白衣を着て、目を真っ赤にしてPCに向い、ぴよんぴよん跳ね回っている。もちろん真っ白な毛を除けば。でもこれも、近いうちにやって来るかもしれない。

日立総合病院 NICU 開設にかかわり Hard Work に身を置き、体力の限界を感じて17年前に開業。NICUに後ろ髪を引かれるなか、新生児医療を通して得ることができた「お母さんの不安・心配の解消」を理念に掲げた。理念の源は“母親の悲しみの涙と喜びの涙”から学んだ賜物。生来の負けず嫌いから、「理念を掲げているくせに」と後ろ指をさされることを嫌い、理念に花を咲かせ実を結ばせるための子育て支援活動に邁進。院内報「かわむらこどもクリニックNEWS」(209号)の発行から始まり、恐らく開業小児科では日本初のホームページ「かわむらこどもクリニック HOME PAGE」(86万アクセス)の開設。理念を全国展開するためのインターネット医療相談(6500件)。目立ちたがりやの新し物好きで、次から次へと新しい取組みに挑戦。育児サークル『お母さんクラブ』(109回)、患者さん専用のメール相談窓口、等々。「お母さんの不安・心配の解消」の基本は、コミュニケーション。お母さんを患者さんに変えれば、医療の普遍的な理念。この理念とコミュニケー

## 1月のお知らせ

- ・医学生実習  
1月7日、28日(金)  
よろしくご協力をお願いします
- ・栄養育児相談  
1月12日、19日 13:30~  
栄養士担当 参加無料



麻疹風疹ゼロ作戦キャンペーン 『1才のお誕生日に麻しん風しん混合ワクチンを』『すべての子どもたちにすべてのワクチンを』

## あけまして おめでとう ございます

今年はいざなぎ年!! 跳ね過ぎて失敗しない様に、心を落ち着けて何事にも取り組みたいと思います。今年もよろしくおねがいします☆  
婦長 中米 由美子

去年は捻挫に始まり捻挫で終わる一年だったので、今年はケガのない一年にしたいです!  
事務 福地 あさか

今年、気づいたら年末、とならないように、一日一日を大切に過ごしていきたいです。  
事務 道端ちひろ

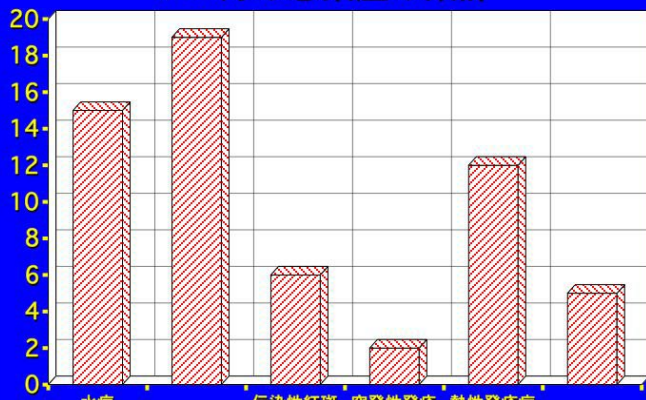
今年、断捨離の実行を目標に! 家の中をすっきりして、何事もすっきりして生活していきたいです。  
看護師 佐藤 陽子

### 読者の広場

先月は10通のメールを頂きました。年末の挨拶をかねて、青葉区の佐藤さんから「こんばんは。佐藤有斗、滯音の母です。今年もお世話になりました。今まで電車で通っていましたが、つい車の免許をとり先生の所に通うのが少し楽になりました。(でも..... 駐車場に停めるのが難題です! 来年もお世話になることは間違いないと思われまますので、よろしくお願致します。」。さて電車通ってきているということですが、どこからだと思いませんか? まさか錦ヶ丘から電車通っているとは知りませんでした。遠くまで、本当にありがたいことです。駐車場に入れられない時は声をかけてください(笑)。それより、事故に気を付けて通ってくださいね。また診療最終日に3人の入院と1人の外科紹介の患者さんがいました。外科に紹介した泉区の新関さんからメールを頂きました。「いつもお世話になっております。新関周の母です。昨日は市立病院を紹介していただきありがとうございました。その後、造影剤を使ってCTを撮った結果、やはり急性虫垂炎ということで直ぐに手術して頂きました。手術は1時間くらいで無事に終わりました。化膿もしていたとの事で手術して取って良かったとの事でした。タイミングが良かったと言われました。本当に素早い対応をしていただきありがとうございました。れんの時といい今回の事といい、川村先生には本当にいくらお礼を言っても足りないほど助けて頂きました。看護婦さん方にも色々丁寧に説明して頂きありがとうございました。とても心強かったです。よろしくお伝え下さい。本当にありがとうございましたm(\_\_)m」。子どもの虫垂炎の診断は難しいのですが、早く対応できて良かったと思っています。その後の経過も順調で、年末には退院できたようです。お正月を自宅で迎えることができ何よりでした。このような報告をもらえることは、われわれスタッフ一同とてもありがたいことです。このようなメールをもらって新しい年を迎えることができ、嬉しい限りです。



### 12月の感染症の集計



水痘と溶連菌感染症がかなり増えました。おたふくは珍しく1例もいませんでした。グラフには示していませんが相変わらず感染性胃腸炎が多くみられ、点滴の多い月でした。インフルエンザは5人みられました。年末年始の急患センターでは、成人にかなり流行が広がっているようです。これから、子どもたちの間で、流行が拡大しそうな展開です。

### Mail News 発行のお知らせ

従来HP、院内掲示などの方法で、情報を提供していましたが、迅速性に欠けました。その解消のためMail Newsを発行しています。現在200人を越えるお母さん方に登録をいただいています。携帯でもPCでも可能です。



右上のバーコードでメールが立ち上がります。「登録希望」と登録者、お子さんの名前を書いて送信してください。携帯用HPからの登録も可能です。携帯用HPも進化しています。過去のMail Newsも読めますよ。Twitterも。左のバーコードで携帯サイトをブックマークに登録してください。

元旦の毎日新聞、ご覧になりましたか?。以前からMail Newsでは紹介していましたが、特集記事「100年後の宇宙の物語: 各界の9人に聞いた大予想」の取材を受けていました。「2011年が幕を開けた。旧ソ連の宇宙飛行士ガガーリン少佐(当時)が人類初の宇宙飛行に成功してちょうど50年。(略)宇宙を考えるいいタイミングかもしれない。そんな思いで、県内を中心にさまざまな分野で活躍する9人のアイデアや希望を基にして、「100年後の宇宙の物語」を紡いでみた。」。活躍する人(この言葉が嬉しい)として、さとう宗幸さんと、写真入りで紹介されました。院長のコメントは「重力の少ない月で運動会が開催され、運動が苦手な少年にとっては楽しみになりうる。低重力オリンピックも開催され、運動機能障害者も参加できる。」と。

### 仙台市医師会学術奨励賞受賞

この度仙台市医師会の学術奨励賞を受賞することになりました。学術奨励賞は毎年2名の先生方に贈られる、大変名誉のある賞です。仙台市医師会の会員生涯教育等に貢献するとともに、優れた研究に対して送られるものです。大都市の医師会で年間2名であることと、開業医では久しぶりの受賞ということで、本当に嬉しい限りです。

以前も紹介した、小児科開業医における新型インフルエンザ感染の研究が、高い評価を得て受賞することになりました。

1月7日の仙台市医師会の新年会で表彰されるとともに、2月には学術部勉強会で講演する予定です。

### 編集後記

去年の忙しさという訳ではありませんが、お正月は寝正月でした。例年恒例のセブ島行きも、友人の都合と体力の温存のため中止としました。忙しく働いていた方には申し訳ないけど、暇なことは辛いと感じちゃいました(-;-)。今年はずいぶん還暦です。まさか来るとは思っていませんでしたが、健康に気を付けて、この1年を過したいと思っています。



K's clinic

麻疹風疹ゼロ作戦キャンペーン 『小学校入学前にも麻しん風しん混合ワクチンを』  
Ⅲ期(中学1年生相当)、Ⅳ期(高校3年生相当)も忘れずに!